

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府岸和田市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	岸和田市文化振興計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>岸和田市文化振興計画に謳われる「基本目標Ⅲ 1. 歴史や文化財等への理解の促進と活用」に基づき、地域の歴史や文化財等への理解を促進し、地域の魅力向上につながる取り組みの推進に努め、子どもたちにも地域の歴史や文化財に親しみが持てる環境の整備に努め、地域の歴史に関する取り組みや文化財を活用した文化事業の取り組みに努める。</p> <p>また、「基本目標Ⅲ 2. 伝統行事の保存・継承」に基づき、だんじり祭などの伝統行事の保存・継承の支援や発展に努め、歴史的・文化的資源の保存と活用を推進するため下記の取り組みを実施する。 【岸和田市文化振興計画URL https://www.city.kishiwada.osaka.jp/uploaded/attachment/34844.pdf】</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画については、実行委員会内の調整、運営は「八木地域文化遺産総合活用推進実行委員会」が行う。岸和田市教育委員会生涯学習部郷土文化課は計画の進行確認とその指導助言を行う。</p> <p>また、補助事業は「八木地域文化遺産総合活用推進実行委員会」が実施する。補助事業に係る関係種類等は補助事業終了年度の翌年度から5ヵ年の保管期間を経て、整理の後、必要なものは補助事業期間中に郷土文化課に提出されたものに加える形で市が保管する。</p> <p>各年度の事業終了後、事業成果については岸和田市文化振興計画作業部会にて郷土文化課が報告し、また岸和田市文化振興計画の更新に際しては、本事業の成果を反映させるよう取り組む。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 0 千円	平成31年度申請額： 6,800 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>事業の実施により市民の地域の文化遺産に対する意識が向上し、祭礼文化の継承と、熟練が必要な技術の継承、普及が期待できる。また地域愛の醸成により現在3.2%の岸和田市人口減少率に歯止めをかける効果を期待する。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	本事業のうち後継者育成事業に関しては事業終了後も継続して実施する予定であり、地域の賛同を得て自主的に進めるものとする。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現在のところなし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	岸和田市教育委員会生涯学習部郷土文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	後継者育成研修参加者数			関連事業:		
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 108 人					
設定根拠 1 :	町会での会員、少年団、子供会を対象に参加者数を設定。					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	祭礼行事への参加住民数			関連事業:		
目標値 2 :	【現状値】 平成 30 年度 392 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 433 人					
設定根拠 2 :	用具等整備事業を実施し、安全な祭礼を実施することにより吉井町祭礼参加者の増加を見込む。					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	人	人	

